形成外科学

１　臨床実習の概要

形成外科学実習では形成外科領域の疾患を持つ患者の治療に積極的に参加し、形成外科疾患の病態、手術適応、術式の選択、術中・術後管理に必要な知識と技能を習得し、問題解決法と自主学習の習慣を身につける。

２　金沢医科大学の到達目標（アウトカム）

①豊かな人間性と倫理観
②生涯学習
③医学知識と技能
④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
⑥科学的態度・探求心

３　臨床実習の到達目標（アウトカム）：

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 担当患者ならびに関わる多職種と良好な人間関係をつくることができる（①④）
- 既に診断の確定した患者について概要を説明できる（③）
- 患者の手術適応を判定できる（③）
- 患者の手術術式を選択できる（③）
- 術後におこりうる後遺症、合併症を挙げ、その対策を説明できる（②③⑥）
- 形成外科領域の疾患の治療において
  - 多職種・チーム医療の意義を理解し、学生として参加できる（①④）
  - 社会福祉制度を説明できる（④⑤）

※主要な疾患

疾患

顔面骨骨折、熱傷、手外傷（切断指、腱損傷）、瘢痕ケロイド、瘢痕拘縮、乳癌、頭頸部癌、難治性潰瘍（褥瘡、糖尿病性潰瘍）、眼瞼下垂症、口唇裂、口蓋裂、多・合指（趾）症、小耳症、頭蓋（顔面）骨早期癒合症、顎変形症

検査・医用機器など

超音波検査、CT/MRI 検査

４　学　習　方　略

病棟・中央手術室、ならびに外来臨床実習

５．事前事後学修について

担当患者の手術法に関して、プレゼンテーションが行えるように予習を行う。
こと
【自己学習（事前事後学修）に必要な時間】
　実習１日あたり　予習：６０分　　復習：１５分

６．課題（実習中の課題やレポート等）に関するフィードバック

担当患者の提示や口頭試問については実習中のクルズス等で適宜フィードバックを行う。

７　評　　価

評価項目	評価割合
臨床実習出席（出席表）	20 %
実習レポート（担当症例のレポート）	20 %
担当患者症例提示	20 %
口頭試問	20 %
その他	20 %
上記の評価項目を総合的に判定する。	

８　実習スケジュール

別項参照

９　教　育　担　当　者

実習責任者：島田 賢一（形成外科学）
担当教員：　島田 賢一、岸邊 美幸、山下 昌信、宮永 亨、金子 貴芳

１０　参　考　図　書　・　文　献

購入すべき図書
１．標準形成外科学　第７版　医学書院

形　成　外　科　学

週間スケジュール

	8:00 8:10	8:30	9:00 10:00 11:00	12:00	13:00 14:00 15:00 16:00	17:00 18:00 19:00
月	抄読会［島田］	術前カンファレンス［島田］	手　術　実　習 [島田・岸邊・山下・宮永・金子]		術後管理[手術]自己学習 [島田・岸邊・山下・宮永・金子]	自己学習
火	症例検討［島田］	教授回診［島田］	外来手術 [宮永]		術後管理[手術]自己学習 [岸邊・山下・宮永・金子]	自己学習
水	術前カンファレンス［山下］		手　術　実　習 [岸邊・山下・宮永・金子]		術後管理[手術]自己学習 [岸邊・山下・宮永・金子]	自己学習
木	8：20症例検討［島田］	教授回診［島田］	外来手術 [岸辺]		術後管理[手術]自己学習 [岸邊・山下 ・宮永・金子]	自己学習
金			国試対策講義		術後管理[手術]自己学習 [島田・岸邊・宮永・金子]	自己学習

第１日目の集合場所・時間：臨床研究棟8階　形成外科学 医局　午前8時10分

木曜日は午前8時20分